

大和郡山市第4次総合計画基本構想（素案） に対するパブリックコメントの結果について

1. 募集期間 平成27年11月15日～平成27年11月24日
 2. 応募件数 5名の方から7件
 3. 応募方法 ホームページ：6件 郵送：1件

No.	意見の要旨	意見に対する市の考え方
1	大和郡山市第4次総合計画の基本構想（素案）は項目だけなので、内容がわかりにくい。	具体的な施策を定めるための指針となる将来像や土地利用構想など、大きな方向性についてご意見をいただきたく、基本構想（素案）のみパブリックコメントを実施しております。
2	子どもが安心して遊べる施設や場所、子育てに悩む母親が相談や交流できる場所や環境が少ない。	ご指摘の内容につきましては、具体的な事業を立案、実施する際、参考にさせていただきたいと考えております。
3	「たんどん三の丸広場」が再開するまで、同じような環境で遊べる施設を要望する。	ご指摘の内容につきましては、ご意見として承ります。
4	誰もが住みたくなる安全・安心なまちづくりに向け、迫りくる地震災害に対する自助・協働体制の早急な体制づくりのため、以下のことを提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民への情報提供 ・ 被災地域の活かした教訓に学ぶ実地指導 ・ 一斉防災訓練の継続実施 ・ 他府県からの避難受入体制の確立 	本市といたしましても、「地域防災計画」の改訂を行い、防災施策を推進するとともに、防災出前トークや防災情報の発信などにより、防災意識の向上や自主防災組織の結成を進めてまいりたいと考えております。ご指摘の内容につきましては、具体的な事業を立案、実施する際、参考にさせていただきたいと考えております。
5	夢と誇りが持てる、市民自らが過去と未来をつなぐまちづくりに向け、次世代を担う子どもたちに「大和郡山市の過去・現在・未来」を考える場の提供が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代を担う子どもたちに情報を伝える主力部隊は退職した男性や地元密着機会が多い女性である。 ・ 子どもたちに実体験学習する機会を多く提供することにより、世代間の意見を聞く絶好の機会ともなりえる。 ・ 子どもたちの意見を反映・実現させる機 	次世代を担う子どもたちに対しては、学校教育や幼児教育の中においても、様々な技術や経験を持った人材を幅広く発掘し、子どもたちが地域のことを学ぶ機会を提供できるよう、ご意見を参考にさせていただきたいと考えております。ご指摘の内容につきましては、具体的な事業を立案、実施する際、参考にさせていただきたいと考えております。

	<p>会を提供することで、若者の市政への参画意識を醸成することになる。</p>	
6	<p>下水道事業を進めていくことは財政負担が大きく、合併浄化槽の普及促進を図ることが有効だと考えられる。</p>	<p>下水道事業につきましては、経営状況や使用料水準などに関する情報を積極的に公開するなかで、今後の展開を検討してまいりたいと考えております。ご指摘の内容につきましては、ご意見として承ります。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時に市民生活を安全に守り抜くために、大地震に耐えられる市庁舎を新しく建設することを提案する。 ・観光の新名所として郡山城天守閣の建設を提案する。 ・金魚の展示資料館を建設することを提案する。 ・大震災や火災時の消防用水槽を整備することを提案する。 	<p>市庁舎の建設に関しましては重要課題と認識しており、今後様々な角度から検討する必要があると考えております。また、ご指摘の内容につきましては、それぞれ本市の地域資源に係る内容であり、具体的な計画を慎重に検討する際に、参考にさせていただきたいと考えております。</p>